

## 事例 4 鑑賞領域における、「生徒が感性を働かせて音楽のよさや美しさを味わって聴く」事例

○学年 第2学年

○領域・分野 B鑑賞(1)ア(ア)、イ(ア)

○事例のポイント

- ①生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素は、【音色、テクスチャ】である。
- ②曲想と音楽の構造との関わりについて、知覚したことと感受したことを関連付けて理解することができる授業を展開する。
- ③パイプオルガンの音色や楽器の特徴から生み出される曲想の変化について知覚・感受しながら、曲のよさや美しさを味わうことのできる授業を展開する。
- ④ICT端末を活用した課題提示の工夫と学びの共有の例示をする。

### 1 題材名 旋律が重なり合い発展していくおもしろさを味わおう（2時間扱い）

### 2 題材について

#### (1) 生徒の実態

鑑賞分野において、1年次に「春（ヴィヴァルディ作曲）」や「魔王（シューベルト作曲）」などのよさや美しさを味わって聴く学習をしている。それらの楽曲は表題をもち、音楽の構成や曲想などのイメージをもちやすい教材でもあるため「強弱」や「旋律」、「音色」といった〔共通事項〕をもとに音楽の要素や要素同士の関わりによって変化する曲想について学習を深めてきた。生徒は音楽の授業に対して、意欲的に学習に取り組む生徒も多く見られるが、一方で、自分の意見を伝えることについて苦手意識をもっている生徒も多く見られる。授業の様子を見ても、しっかりと自分の考えや知識を身に付けている生徒でも、いざ発表することになると自信がもてなく一歩引いてしまう場面が多く見られた。

そこで、本題材ではそれらの課題解決を目指し、生徒一人一人が学習の中心となり、自分で気が付いたことや考えたことを、音楽を媒体とした根拠をもって具体的な筋道を立ててまとめ、そのまとめた知識を他者に分かりやすく共有することのできる「生きた知識」を習得させたい。音楽の楽しさとは、生徒一人一人が自らの考えを他者と交流したり、互いの気づきを共有し、感じ取ったことなどに共感したりしながら個々の学びを深め合うことである。自分の考えや気が付いたことを自分の中の知識として終わりにするのではなく、「相手に分かりやすく伝えるためにはどう工夫すればよいのか」を考え、鑑賞学習を通して様々な角度からアプローチすることにより、自分の考えを相手に分かりやすく伝える能力を向上させ、音楽のよさや美しさを共有し、新しい発見を仲間と共感することにより味わえる喜びを感じることのできる生徒を育成することを目指していく。

#### (2) 題材について

本題材は、音色、テクスチャを知覚・感受し、それらの関わりが醸し出す曲想を感じ取り、主体的・協働的に学習することをねらいとしている。「フーガ ト短調」は、バロック時代に活躍したJ. S. バッハの代表的な作品であり、パイプオルガンのために作曲された楽曲である。小規模ながら荘厳な雰囲気をもつ名曲で「小フーガ」とも呼ばれる。曲の形式は主題が繰り返され、重なり合い発展していく音楽形式(フーガ)が用いられ、旋律が重なり合いながら発展していく多声音楽のおもしろさを味わうことができる楽曲である。

第1時では、フーガの特徴やパイプオルガンの響きの理解を深めていく。「フーガ ト短調」の要素でもある「四声部」や「フーガ」を学習していく中で「リコーダーアンサンブル」で演奏された「フーガ ト短調」を使用する。リコーダーの演奏では1つの声部が一人の奏者で演奏されており、視覚的にもテクスチャが理解しやすくなっている。また、リコーダーの演奏を聴くことにより、パイプオルガンの奏でる演奏がより荘厳であり、この楽曲のよさを生み出す要素になっていることにも気付かせたい。

本時にあたる第2時では、バロック音楽を代表する作曲家バッハについてどのように多声音楽が発展していき、現在の音楽に影響を与えてきたのか、当時の時代背景との関わりを考え、パイプオルガンの響き、旋律が繰り返されるフーガの面白さを理解できるような授業を展開する。パイプオルガンの音色やテクスチャとの関わりの中で、音楽全体に与える影響について感じ取り、他者との考えを共有することにより、新しい視点からの発見をする楽し

さを学習し音楽をより深く鑑賞することをねらいとしている。

(3) 学習指導要領との関連について

本題材では、学習指導要領のB鑑賞(1)ア(ア)、イ(ア)、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素として「音色」「テクスチュア」を指導するものとする。

3 題材の目標

- (1) 「フーガ ト短調」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 〈知識及び技能〉
- (2) 音色、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) パイプオルガンの音色や音の重なり方に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。 〈学びに向かう力、人間性等〉

4 教材について

「フーガ ト短調」 J. S. バッハ 作曲

5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕との関連及び具体的な学習活動

指導事項	鑑賞ア(ア) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 鑑賞イ(ア) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること。
〔共通事項〕	ア 音色、テクスチュア
	イ
具体的な学習活動	・音楽の形式や音の重なり方との関わりを感じ取りながら聴く。 ・パイプオルガンの音色と構造について理解する。

6 題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<b>知</b> 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	<b>思</b> 音色、テクスチュア(音の重なり方)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	<b>態</b> パイプオルガンの音色や音の重なり方に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1時	<b>知</b> 観察・記述	↓	↓
2時		<b>思</b> 観察・聴取・記述	<b>態</b> 観察・聴取・記述

実践事例として活用しやすいよう、「事例のポイント」を記載しているが、本来は評価項目となる箇所である。(P111 評価資料を参照)

7 指導と評価の計画 (全2時間)

時	◆ねらい ○学習内容 ・学習活動 T : 具体的な発問 S : 具体的な生徒の姿	○指導上の留意点	事例のポイント ◎留意事項
1次◆音楽の形式や音の重なり方との関わりを感じ取り、パイプオルガンの音色と構造について理解する。			
1	<p>○「フーガ ト短調」の音楽の特徴を聴き取る。 ・パイプオルガンで演奏された「フーガ ト短調」を聴き、楽曲の雰囲気や楽器の響きについて感じたことを記述する。</p> <p>T : 演奏されている楽器や、旋律の特徴に注目して聴いてみよう S : 同じようなことが繰り返されている S : 重々しい音がする S : 教会で演奏されているみたいな音色</p> <p>○アルトリコーダーで演奏された「フーガ ト短調」を視聴しテクスチュアについて知覚・感受する。 ・リコーダー四重奏で演奏された「フーガト短調」を視聴する。(動画視聴) ・最初から 22 小節目までの演奏を聴く。(3回) (1回目) T : 楽器が変わって各声部の旋律はどう聴こえましたか。 S : 各声部の旋律が聴きやすくなった。 S : 旋律の重なり方がはっきり分かった。 ・4つの声部に分かれていることを聴き分ける。</p>	<p>○楽譜と音楽を提示し、四つの声部のそれぞれの旋律が異なる動きをしながら音が重なる特徴によって曲が構成されていることを示す。</p> <p>○音楽と連動して流れる楽譜を提示する。</p> <p>○楽曲全体の曲想を感じ取るため一曲を通して聴く。</p> <p>○リコーダーアンサンブルによる演奏を視聴し、それぞれの楽器の音色の違いによる旋律と音の重なり方の特徴に気付くことができるようにする。</p> <p>○各声部を一人の奏者が演奏していることにより、視覚的にも各声部を聴き取りやすくする。 ・視覚的にも各声部を認識できるようにする。 ・音の重なり方を聴き取る。</p> <p>○フーガの特徴を理解し、4つの声部が発展しながら繰り返されていることを理解させる。(音色・テクスチュア)</p>	<p><b>ポイント①</b> ◎音楽を形づくっている要素、【音色】、【テクスチュア】を基に、楽曲を鑑賞する視点を明らかにして聴くようにする。</p> <p><b>ポイント④</b> ◎ICT機器を活用し、楽譜での視覚的な確認と音楽での確認で、共有すべき知識は時間短縮し、音楽を味わう時間を確保する。</p> <p><b>ポイント①</b> ◎音楽を形づくっている要素、テクスチュアに注目させ、音の重なり方について気付かせる。 ◎1回目で聴き取れなかった生徒に対しては楽譜を見ながら聴くように促す。</p>
編P88 指導計画作成の留意事項(1)(2)			

<ul style="list-style-type: none"> <li>・主題が追いかけるように繰り返されている形式(フーガ)を確認する。</li> <li>・最初から最後まで演奏を聴く。(1回)</li> </ul> <p>T : 各声部の旋律は、どう楽曲の雰囲気や音楽を形づくっている要素に影響を与えていましたか。</p> <p>S : 同じ旋律と一緒に演奏している場所が一度もなく、最初から最後まで違う動きをしていた。</p> <p>S : それぞれの旋律が違う動きをしているのに邪魔をしていない。</p> <p>S : 旋律ははっきり聞こえたけれど、響きが軽く感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプオルガンとの演奏の違いを知覚・感受する。</li> </ul> <p>○パイプオルガンについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプオルガンの演奏の様子や構造について視聴する。(DVD視聴)</li> </ul> <p>T : 何でこんなにたくさんのパイプが使われているのだろう。</p> <p>S : 音色を変えるため。</p> <p>S : 一つのパイプから一つの音しか出ないからたくさんのパイプが必要。</p> <p>T : いろいろな音色が出せるが何で音が変わるのか。</p> <p>S : 作られている素材によって音が変わる。</p>	<p>&lt;生徒の発言例:気付きのポイント&gt;</p> <p>○同じような旋律が繰り返されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音がだんだん低くなっている。</li> <li>・いくつもの旋律が重なっている。</li> </ul> <p>○同じような旋律だけど全く同じではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音の高さが違う</li> <li>・1回目と2回目のスタートの音が違っている。</li> <li>・1回目と3回目、2回目と4回目は同じ音から。</li> </ul> <p>○聴き取ったこと(知覚)と感じ取ったこと(感受)との関わりを関連付けて、自分の意見を記入させる。(ワークシート)</p> <p>○主題を取り上げ、それが4つの声部(ソプラノ・アルト・テノール・バス)によって演奏されていることに気付かせる。</p> <p>○各旋律がそれぞれ独立したことを演奏していることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立した旋律が邪魔をしないで楽曲を構成している。</li> </ul> <p>○パイプオルガンの演奏と雰囲気が異なることを知覚・感受させる。</p> <p>○パイプオルガンの構造についてのDVDを視聴し、音が出る仕組みや音色について理解する。</p> <p>○音の出る構造を理解させ、音色にどのような変化をもたらすか感じ取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木製は柔らかい音が出る。</li> <li>・金属は固い音が出る</li> <li>・素材の硬さで音色が変化する。</li> <li>・フルー管はぼやけた感じ。</li> <li>・リード管は音の輪郭はっきりしている。</li> </ul>	<p>ポイント②</p> <p>◎音楽を形づくっている要素、【音色】、【テクスチャ】に注目させ、曲の構成との関わりについて気付かせる。</p> <p>ポイント①</p> <p>◎曲全体として捉えるのではなく、いくつかの場面を設定し支援を行う。</p>
	<p>&lt;生徒の発言例:気付きのポイント&gt;</p> <p>○音色を変えるため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に適した音を出すため。</li> </ul> <p>○パイプの構造によって音が変わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素材が変われば音(響き)が変わる。</li> <li>・音を出す構造が違う(フルー管・リード管)。</li> </ul>	

<p>○学習のまとめ・振り返り T：「バッハ」について自分が興味をもったことを次の授業までにICT端末を使って調べよう。</p> <p>Q1 バッハが活躍した時代はどんな時代だったのだろうか。 ・音楽や文化 ・そのとき日本は…</p> <p>Q2 その当時の音楽にはどのような特徴があったのだろうか。 ・バロック音楽とは ・何のために…</p> <p>Q3 バッハが残したものは何だろうか。</p>	<p>○課題に取り組みやすいよう質問を明確にする。 ○調べたことをまとめるだけでなく、調べたことから発展して考えさせる。</p> <table border="1" data-bbox="778 353 1353 927"> <thead> <tr> <th colspan="2">バッハについて調べたことを記入しよう</th> </tr> <tr> <th>質問</th> <th>調べた結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バッハが活躍した時代はどんな時代だったのだろうか。 ・音楽や文化 ・そのとき日本は…</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その当時の音楽にはどのような特徴があったのだろうか。 ・バロック音楽とは ・何のために…</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バッハが残したものは何だろうか。</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">発表を聞いて気付いたこと・感じたこと</td> </tr> </tbody> </table>	バッハについて調べたことを記入しよう		質問	調べた結果	バッハが活躍した時代はどんな時代だったのだろうか。 ・音楽や文化 ・そのとき日本は…		その当時の音楽にはどのような特徴があったのだろうか。 ・バロック音楽とは ・何のために…		バッハが残したものは何だろうか。		発表を聞いて気付いたこと・感じたこと		
バッハについて調べたことを記入しよう														
質問	調べた結果													
バッハが活躍した時代はどんな時代だったのだろうか。 ・音楽や文化 ・そのとき日本は…														
その当時の音楽にはどのような特徴があったのだろうか。 ・バロック音楽とは ・何のために…														
バッハが残したものは何だろうか。														
発表を聞いて気付いたこと・感じたこと														

2次◆パイプオルガンが奏でる「フーガ ト短調」の特徴を味わおう。

<p>2 本時</p> <p>○前時の復習</p> <p>○バッハについて知る。 ・作曲家の生涯や他の作品に触れる。 ・前時の終わりに出した課題を確認する。 T：バッハが活躍した時代はどんな時代だったのだろうか。 ・音楽や文化 ・そのとき日本は… T：その当時の音楽にはどのような特徴があったのだろうか。 ・バロック音楽とは ・何のために… T：バッハが残したものは何だろうか。</p>	<p>編 P88 指導計画作成の留意事項(2)(3)(4)</p> <p>○多くの多声的な音楽を残した作曲家であること、現在の音楽に多大な影響をもたらした存在であることを伝える。 ○当時の日本の伝統芸術や文化などの関りに関心をもたせる。 ○1年時に学習したヴィヴァルディなどの楽曲との関わりを深める。 ・その多くが教会だけでなく宮廷のために作られたものなので優雅なものが多い。 ・主に教会で演奏する曲を数多く作曲していることを理解する。 ・対位法を用いたフーガなどが多くつくられていることを理解する。</p>	<p><b>ポイント④</b> ◎ICTを活用し（パワーポイント）本時の流れの提示する。</p> <p><b>ポイント④</b> ◎ICT端末を使用しインターネット上で検索しやすいようQRコードを用意しておく。 ◎知識を覚えさせるだけにならないよう、資料や映像などを活用し、文化・歴史との関わりに注目させる。</p>
---	--	--

<p>○パイプオルガンが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと、感受したことの関わりや構成や雰囲気や音色についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パイプオルガンで演奏された「フーガ ト短調」を聴き、楽曲の雰囲気や楽器の響き、時代背景などが生み出す音楽の特徴の変化に気付き感じたことを書き出す。</li> </ul> <p><b>T : もう一度パイプオルガンの演奏を聴き、前時の授業と聴き方や聴こえ方が変化したことをまとめてみよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最初から 22 小節目までの演奏を聴く。(2回)</li> <li>23小節目から最後まで演奏を聴く。(1回)</li> </ul> <p>○学習のまとめ・振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パイプオルガンの演奏を最初から最後まで聴く。(1回)</li> </ul> <p><b>T : 「フーガ ト短調」が作曲された時代背景や、使用されている楽器、音楽を構成している要素の関わりによって、どのような作品となりましたか。(ワークシートに記入)</b></p>	<p>○前時で学習した、音楽を形づくっている要素(音色・テクスチャ)の知覚・感受できているかワークシートを確認する。</p> <p>○聴き取ったこと(知覚)と感じ取ったこと(感受)との関わりを関連付けて、自分の意見を記入させる。</p> <p>○リコーダーの演奏や、パイプオルガン特徴、バッハ自身について学習したことで、パイプオルガンが奏でる「フーガ ト短調」をより深く理解させる。</p> <p>○ワークシートにしるし(赤などの矢印)を書き、音楽を形づくっている要素とそれらが生み出す特質や雰囲気との関わりを理解する。</p> <p>○演奏されている場所や、パイプオルガンの響きの特徴、独立した旋律ながらも重なり合っている面白さに気付かせる。</p>	<p><b>ポイント①</b></p> <p>○記入する内容がうまく理解できない生徒に対しては、あらかじめ「聴くポイントキーワード」の中から選ばせ、ポイントを絞って粘り強く何度も聴くことを促す。</p> <p><b>ポイント③</b></p> <p>○具体的に音楽を形づくっている要素の【何が】と音楽の特徴【雰囲気】との関わりがあるかを粘り強く感じ取れるよう促す。</p> <p><b>ポイント①</b></p> <p>○音楽を形づくっている要素【音色】、【テクスチャ】に注目させ、曲の構成との関わりについて理解させる。</p>
--	--	--

## ○ 参考

本題材の第1時の最後に、「バッハ」についての調べ学習を取り入れているが、生徒の実情やそれまでの学習の取組によって、第1時の前に行い「これから学習する内容についての予習として」や、第2時の終了後に行い「授業を通し学んだことを関連させながら調べ学習を行う」ことで、音楽と知識との関わりを深くもつことができるようになる。

また、調べ学習を行う中で「出典」や「引用」等の著作権法にもふれ、正しいICT端末やSNSの活用方法を学習していくことも大切である。

8 本時の学習指導について（2 / 2時）

(1) 目標

- ① 音色・テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。  
〈思考力、判断力、表現力等〉
- ② パイプオルガンの音色や旋律の重なりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。  
〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 展開

<p>○学習内容 ・学習活動 T:具体的な質問 S:具体的な生徒の姿</p>	<p>○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法</p>										
<p>○前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「フーガ ト短調」の旋律・形式について</li> <li>・リコーダーアンサンブルを視聴し、旋律の重なり方（テクスチュア）の理解</li> <li>・パイプオルガンの特徴と構造</li> </ul> <p>○本時の流れの提示（パワーポイント）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動時間、活動体系、活動内容を視覚的に指示する。</li> </ul>	<p>○前時のワークシートに記入されている内容を振り返る。</p> <p>○本時の流れを視覚的に可視化し、授業内容の共有化を図る。</p> <p>○考え方や記入を具体的に示し、本時の学習のねらいや目的を分かりやすく伝える。</p>										
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p><b>本時の目標</b></p> <p><b>パイプオルガンが奏でる「フーガ ト短調」の特徴を味わおう。</b></p> </div>											
<p>○バッハについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の終わりを出した「バッハについて調べてこよう」を確認する。</li> </ul> <p>質問</p> <p><b>Q 1</b></p> <p>T : バッハが活躍した時代はどんな時代だったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽や文化</li> <li>・そのとき日本は…</li> </ul> <p>S : バロック音楽の時代</p> <p>S : 日本の芸術（歌舞伎・箏曲）とは雰囲気が違う。</p> <p>S : この時代にはまだ日本に西洋音楽が伝わっていなかった。</p> <p>S : 日本の浮世絵は西洋音楽にも影響を与えている。</p> <p><b>Q 2</b></p> <p>T : その当時の音楽にはどのような特徴があったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バロック音楽とは</li> <li>・何のために…</li> </ul> <p>S : 教会や王族の音楽家として、依頼されて音楽をつくっていた。</p> <p>S : 教会や王宮で演奏されるために作られた曲が多い。</p>	<p>○多くの多声的な音楽を残した作曲家であること、現在の音楽に多大な影響をもたらした存在であることを伝える。</p> <p>○各項目 2分程度で進めていく。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">バッハについて調べたことを記入しよう</th> </tr> <tr> <th style="width: 50%;">質問</th> <th style="width: 50%;">調べた結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">                     バッハが活躍した時代はどんな時代だったのだろう。                      ・音楽や文化                      ・そのとき日本は…                 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バロック音楽の時代</li> <li>・日本の芸術とは雰囲気が違う。</li> <li>・この時代にはまだ日本に西洋音楽が伝わっていなかった。</li> <li>・日本の浮世絵は西洋音楽にも影響を与えている。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">                     その当時の音楽にはどのような特徴があったのだろう。                      ・バロック音楽とは                      ・何のために…                 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教会や王族の音楽家として、依頼されて音楽をつくっていた</li> <li>・暗いイメージだけど実は明るい曲が多い</li> <li>・短調、長調が多く使われるようになった。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">                     バッハが残したものは何だろう。                 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの音楽。</li> <li>・パイプオルガンなど鍵盤楽器の曲が多くつくられている。</li> <li>・音楽の形式。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>次回までの課題であった調べ学習をもとに、お互いの意見を共有させる。</p> <p>他者の意見だけになってしまわぬよう、机間指導などや声掛けをおこない支援する。</p> </div>	バッハについて調べたことを記入しよう		質問	調べた結果	バッハが活躍した時代はどんな時代だったのだろう。 ・音楽や文化 ・そのとき日本は…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バロック音楽の時代</li> <li>・日本の芸術とは雰囲気が違う。</li> <li>・この時代にはまだ日本に西洋音楽が伝わっていなかった。</li> <li>・日本の浮世絵は西洋音楽にも影響を与えている。</li> </ul>	その当時の音楽にはどのような特徴があったのだろう。 ・バロック音楽とは ・何のために…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教会や王族の音楽家として、依頼されて音楽をつくっていた</li> <li>・暗いイメージだけど実は明るい曲が多い</li> <li>・短調、長調が多く使われるようになった。</li> </ul>	バッハが残したものは何だろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの音楽。</li> <li>・パイプオルガンなど鍵盤楽器の曲が多くつくられている。</li> <li>・音楽の形式。</li> </ul>
バッハについて調べたことを記入しよう											
質問	調べた結果										
バッハが活躍した時代はどんな時代だったのだろう。 ・音楽や文化 ・そのとき日本は…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バロック音楽の時代</li> <li>・日本の芸術とは雰囲気が違う。</li> <li>・この時代にはまだ日本に西洋音楽が伝わっていなかった。</li> <li>・日本の浮世絵は西洋音楽にも影響を与えている。</li> </ul>										
その当時の音楽にはどのような特徴があったのだろう。 ・バロック音楽とは ・何のために…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教会や王族の音楽家として、依頼されて音楽をつくっていた</li> <li>・暗いイメージだけど実は明るい曲が多い</li> <li>・短調、長調が多く使われるようになった。</li> </ul>										
バッハが残したものは何だろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの音楽。</li> <li>・パイプオルガンなど鍵盤楽器の曲が多くつくられている。</li> <li>・音楽の形式。</li> </ul>										

<p>S：暗いイメージだけど実は明るい曲が多い。</p> <p>S：短調、長調が多く使われるようになった。</p> <p>Q3</p> <p>T：バッハが残したものは何だろう。</p> <p>S：たくさんの音楽。</p> <p>S：パイプオルガンなど鍵盤楽器の曲が多くつくられている。</p> <p>S：音楽の形式。</p>	<p>◎苦手な生徒に対する手立て</p> <p>ICT端末を使用しての検索が上手に行えない生徒のために、あらかじめQRコードを用意しておき、すぐに取り組めるよう支援する。</p>
--	---

**パイプオルガンで演奏される「フーガ ト短調」について自分の考えを記入する【20分】**

<p>○パイプオルガンが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと、感受したことの関わりや構成や雰囲気音色についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプオルガンで演奏された「フーガ ト短調」を聴き、楽曲の雰囲気や楽器の響き、時代背景などが生み出す音楽の特徴の変化に気付き感じたことを書き出す。</li> </ul> <p>T：もう一度パイプオルガンの演奏を聴き、前時の授業と聴き方や聴こえ方が変化したことをまとめてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初から22小節目までの演奏を聴く。(2回)</li> <li>・23小節目から最後まで演奏を聴く。(1回)</li> <li>・演奏の雰囲気・形づくっている要素・気づき感じたこととかかわりを赤線で関連づける。</li> </ul>	<p>○前時で学習した、音楽を形づくっている要素(音色・テクスチュア)の知覚・感受できているかワークシートを確認する。</p> <p>○聴き取ったこと(知覚)と感じ取ったこと(感受)との関わりを関連付けて、自分の意見をワークシートにまとめる。</p> <p>○リコーダーの演奏や、パイプオルガンの特徴、バッハ自身について学習したことで、パイプオルガンが奏でる「フーガ ト短調」をより深く理解させる。</p> <p>○パイプオルガンの響きにより、音色、テクスチュアの変化などより、曲想がどのように変化しているか、聴き取ったこと(知覚)、感じ取ったこと(感受)を具体的に記入させる。</p> <p>○ワークシートにしるし(赤などの矢印)を書き、音楽を形づくっている要素とそれらが生み出す特質や雰囲気との関わりを理解する。</p>
---	--

**学習のまとめ・振り返り【15分】**

<p>○曲想と音楽の構成との関わりについて意識して視聴し、「フーガ ト短調」に対する評価とその根拠について考えたことを自分なりに批評文にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学習をとおして気付いたこと・感じたことをワークシートにまとめる。</li> </ul> <p>○まとめた意見の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートにまとめたことを基に、意見交換をする。</li> </ul>	<p>○ここでいう「評価」とは、曲がどのような構成で成り立ち、曲想(情景)と関わりを自ら考え、その価値を自分なりに判断することである。「その根拠」には、曲想と音楽の構造との関わりといった知識に関する内容(理解したことやとらえた特徴など)が含まれることが大切である。</p> <p>○批評文を発表し合い、音楽のよさや美しさについて学級全体で共有させる。</p> <p>○発表者に対して敬意をもち、お互いを認め合い安心して発表できる環境をつくる。</p> <p>☆<b>思</b> 音色・テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考</p>
---	---

え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(観察・聴取・記述)

☆態 パイプオルガンの音色や旋律の重なりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(観察・聴取・記述)



(2) 「思考力、判断力、表現力等」に係るワークシート例

バッハについて調べたことを記入しよう		もう一度パイプオルガンの演奏を聴いてみて思ったこと	
質問	調べた結果	項目	気付いたこと・感じたこと
バッハが活躍した時代はどんな時代だったのだろう。 ・音楽や文化 ・そのとき日本は…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バロック音楽の時代</li> <li>・日本の芸術とは雰囲気が違う。</li> <li>・この時代にはまだ日本に西洋音楽が伝わっていなかった。</li> <li>・日本の浮世絵は西洋音楽にも影響を与えている。</li> </ul>	曲の雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教会でなど、お祈りなどを目的として演奏されることが多いため、合唱のような雰囲気を残している。</li> <li>・この時代の音楽の役割が伝わるような雰囲気がある。</li> </ul>
その当時の音楽にはどのような特徴があったのだろう。 ・バロック音楽とは ・何のために…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教会や王族の音楽家として、依頼されて音楽をつくっていた</li> <li>・聴いイメージだけで実は明るい曲が多い</li> <li>・短調、長調が多く使われるようになった。</li> </ul>	演奏の特徴 ・音色の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度に複数のパイプが振動することによって重厚感が出ている。</li> <li>・音の高さが変わるから、どんどん進んでいく感じがする。</li> <li>・綺麗な音符の時にキラキラ輝いて聞こえる。</li> </ul>
バッハが残したものは何だろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの音楽。</li> <li>・パイプオルガンなど鍵盤楽器の曲が多くつくられている。</li> <li>・音楽の形式。</li> </ul>	演奏の特徴 ・音の重なりの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて出てきた旋律が追いつけるように重なっている。</li> <li>・まったく同じ旋律ではない。</li> <li>・高い音と低い音が重なると、旋律が際立って聞こえる。</li> </ul>

パイプオルガンが奏でる「フーガ ト短調」特徴を味わおう

バッハについて調べたことを記入しよう		もう一度パイプオルガンの演奏を聴いてみて		発表を聞いて
質問	調べた結果	項目	気付いたこと・感じたこと	
バッハが活躍した時代はどんな時代だったのだろう。 ・音楽や文化 ・そのとき日本は…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バロック音楽の時代</li> <li>・日本の芸術とは雰囲気が違う。</li> <li>・この時代にはまだ日本に西洋音楽が伝わってなかった。</li> <li>・日本の浮世絵は西洋音楽にも影響を与えている。</li> </ul>	曲の雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教会でなど、お祈りなどを目的として演奏されることが多いため、合唱のような雰囲気を残している。</li> <li>・この時代の音楽の役割が伝わるような雰囲気がある。</li> </ul>	
その当時の音楽にはどのような特徴があったのだろう。 ・バロック音楽とは ・何のために…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教会や王族の音楽家として、依頼されて音楽をつくっていた</li> <li>・聴いイメージだけで実は明るい曲が多い</li> <li>・短調、長調が多く使われるようになった。</li> </ul>	演奏の特徴 ・音色の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度に複数のパイプが振動することによって重厚感が出ている。</li> <li>・音の高さが変わるから、どんどん進んでいく感じがする。</li> <li>・綺麗な音符の時にキラキラ輝いて聞こえる。</li> </ul>	
バッハが残したものは何だろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの音楽。</li> <li>・パイプオルガンなど鍵盤楽器の曲が多くつくられている。</li> <li>・音楽の形式。</li> </ul>	演奏の特徴 ・音の重なりの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて出てきた旋律が追いつけるように重なっている。</li> <li>・まったく同じ旋律ではない。</li> <li>・高い音と低い音が重なると、旋律が際立って聞こえる。</li> </ul>	

発表を聞いて気付いたこと・感じたこと

発表を聞いてわかったこと

【「フーガト短調」のまとめ】

「フーガ ト短調」はどんな曲でしたか。今まで学習した内容を踏まえて、自分だけの「フーガ ト短調」の紹介文を書いてみよう。 ※必ず「音色の特徴」と「音の重なりの特徴」についてふれること！

バッハの活躍したバロック音楽の時代では、教会や貴族の依頼によって音楽を作られることが多くありました。また、ピアノが発展していない当時は、まさにパイプオルガンが楽器の王様のような存在でした。バッハは、そのパイプオルガンのもつ力強い雄大な響きをいかした、フーガや宗教音楽を数多く残しました。

また、この曲は4つの旋律が、それぞれを邪魔をすることなく複雑に絡み合っていました。独立した旋律が主役のように現れるフーガは合唱の作られ方と似ていると思います。初めて聴いたときは、独立した旋律がそれぞれの役割をもってかけあっている様子がわからなかったけれど、繰り返し聴いていくうちにわかることができてよかったです。

思判表の評価

評価規準

音色、テクスチュア(音の重なり方)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを味わって聴いている。曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。

「おおむね満足できる」状況(B)

ワークシート

「フーガ ト短調」を学習していく中で「音色」と「音の重なり方方」について知覚したことと感受したこととの関わりについて、おおむね妥当な内容を書いているか。

「十分満足できる」状況(A) ワークシート

下記の生徒は聴き取った(知覚した)ことと感じ取った(感受した)ことを関連付けて考えることができ、「音色」と「音の重なり方」について知覚したことと感受したこととの関わりについて、本学習で身に付けた内容を関連付け、具体的に書いている。

【「フーガト短調」のまとめ】

「フーガ ト短調」はどんな曲でしたか。今まで学習した内容を踏まえて、自分だけの「フーガ ト短調」の紹介文を書いてみよう。 ※必ず「音色の特徴」と「音の重なりの特徴」についてふれること！

バッハの活躍したバロック音楽の時代では、教会や貴族の依頼によって音楽を作られることが多くありました。また、ピアノが発展していない当時は、まさにパイプオルガンが楽器の王様のような存在でした。バッハは、そのパイプオルガンのもつ力強い雄大な響きをいかした、フーガや宗教音楽を数多く残しました。

また、この曲は4つの旋律が、それぞれを邪魔をすることなく複雑に絡み合っていました。独立した旋律が主役のように現れるフーガは合唱の作られ方と似ていると思います。初めて聴いたときは、独立した旋律がそれぞれの役割をもってかけあっている様子がわからなかったけれど、繰り返し聴いていくうちにわかることができてよかったです。

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」に係る教師用チェックシート例について

## 教師用チェックシート

主体態の評価

○ 月 ○ 日	○ 校時	題材名	「フーガ ト短調」	第 2 時
めあて	旋律が追いかけるように重なり合っていく面白さを味わおう			
粘り強く	○…音楽の要素や特徴に高い関心を持って、協力的に他者と関わりを持って粘り強く取り組んでいる。			
	…音楽の要素や特徴に関心を持ち、他者と関わりながら粘り強く取り組んでいる。			
	△…(取組状況に具体的状況を記載)			
自己調整	○…音楽の要素と特徴とのかかわりについて、積極的に調べ学習をおこない、分かったことと音楽のかかわりについて理解し高めようと調整している。			
	…音楽の要素と特徴とのかかわりについて、調べ学習をおこない、分かったことと音楽のかかわりについて理解しようと調整している。			
	△…(取組状況に具体的状況を記載)			

その時間の目標、観点を記入し授業内での評価の基準を明確にすることが重要。

氏名		取組状況		氏名		粘り強く取り組んでいる様子		自己調整しようとしている様子	
		粘り強く取り組んでいる様子	自己調整しようとしている様子						
1	○○ ○○	○	○	21	●● ●●				
2	◇◇ ◇◇		○	22	◆◆ ◆◆				
3	△△ △△			23	▲▲ ▲▲	○			○
4	▽▽ ▽▽	ワークシート未記入	調べ学習を忘れた	24	▼▼ ▼▼				○
5	◎◎ ◎◎	○	○	25	■ ■				
6	●● ●●	○		26	○○ ○○				
7	◆◆ ◆◆	あきらめがち		27	◇◇ ◇◇	○			○
8	▲▲ ▲▲		○	28	△△ △△	○			
9	▼▼ ▼▼		○	29	▽▽ ▽▽				<del>あきらめがち</del>
10	■ ■	○		30	◎◎ ◎◎				○
11	○○ ○○		<del>学習に参加しない</del>	31	●● ●●				○

C評価の生徒については、その都度支援を行い、改善が見られたら随時訂正をしていく。